

# ぼうさい

11月号  
第3日曜日は、  
「家庭防災の日」



地震が起きると、大きなゆれでガラスがわれたり、  
転んだりして、けがをすることがあります。



けがで出血したり、骨折したりしたら…

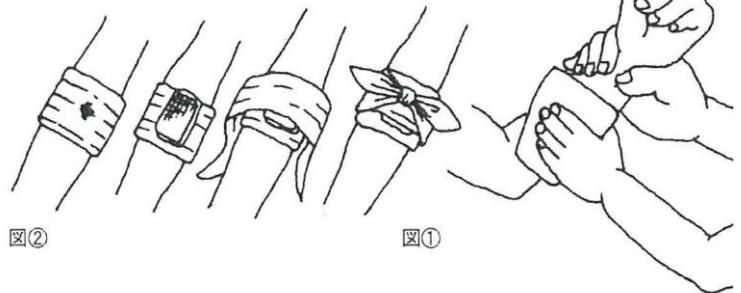
災害が起きた時 病院へ、すぐに行けないかもしれません。



そんな時は 三角巾や身近なものを使って手当をしましょう！



## けがで出血したら



きずぐちに、きれいなぬのをかさねて

上からおさえましょう(図①) 手や足の場合は、心臓よりも高い位置にもっていく

と、はやく血がとまります。数分間おさえていると、血はとまります。心配して何度も

見ることはやめましょう。

それでもまだ血がにじむ場合は、その上からさらにあて布をして、しっかりと包帯や

布でしばりましょう(図②)

顔や頭、ひざなどの曲げ伸ばしをする場所には、ストッキングを

切ったものなどもべんりです。





# こっせつ 骨折したら

こっせつ  
骨折しているところが、動ないようにそえ木<sup>うご</sup>をあてましょう。

そえ木<sup>き</sup>には、身近なものが利用<sup>りよう</sup>できます。ボール紙<sup>がみ</sup>、新聞紙<sup>しんぶんし</sup>、座布団<sup>ざぶとん</sup>、野球のバット<sup>やきゅう</sup>などが使<sup>つか</sup>えます。

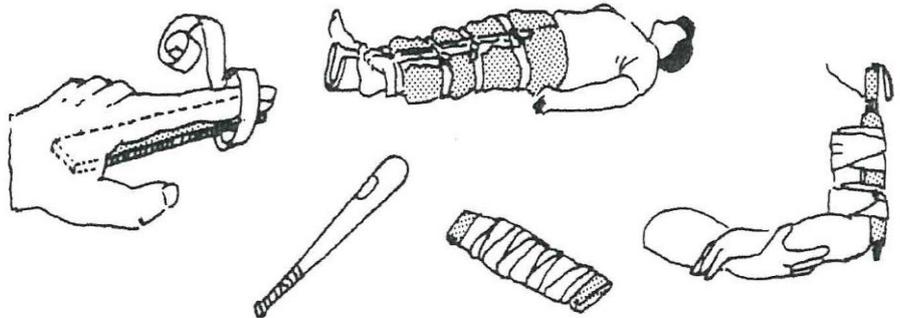


そえ木<sup>き</sup>をあてて、タオルや三角巾<sup>さんかくきん</sup>、ネクタイなどでしっかりとくくりましょう。

こっせつ  
骨折しているところの

じょうげ かんせつ  
上下の関節もふくめて

そえ木<sup>き</sup>をあてましょう。



そえ木<sup>き</sup>と体<sup>からだ</sup>の間に、もしすき間<sup>あいだ</sup>があるときは、固定<sup>こてい</sup>が弱<sup>よわ</sup>くなるので、

やわらかい布<sup>ぬの</sup>をはさんですき間<sup>ま</sup>がないようにしましょう。

さんかくきん いえ ぼあい  
三角巾<sup>さんかくきん</sup>が家<sup>いえ</sup>にない場合は、ふろしきやシーツ、スカーフなども

かわりに使<sup>つか</sup>うことができます。



じぶん  
『自分の



は、じぶん  
自分でまもる』

【参考】日本赤十字社 ホームページ ・ 愛知県 家庭の救急法